

15 二次医療機関への転搬送状況

二次医療機関への転搬送患者数を前年度と比較すると、内科は84人減少し、小児科も8人減少した。二次転搬送率で比較すると、内科は減少傾向にあるが、小児科は微減である。

図表 2-15-1 二次医療機関への転搬送状況

(単位：人)

		平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度			
		輪番 日数	患者数	1日当たり 患者数	輪番 日数	患者数	1日当たり 患者数	輪番 日数	患者数	1日当たり 患者数	
内 科	搬 送	国立病院機構千葉医療センター	48	19	0.40	48	22	0.46	48	14	0.29
		千葉市立青葉病院	198	154	0.78	198	157	0.79	198	119	0.60
		千葉市立海浜病院	49	63	1.29	52	57	1.10	52	56	1.08
		ジェイ・千葉病院 (旧千葉社会保険病院)	36	9	0.25	36	7	0.19	36	9	0.25
		千葉メディカルセンター	31	25	0.81	24	14	0.58	24	15	0.63
		井上記念病院	12	3	0.25	12	4	0.33	12	1	0.08
		柏戸病院	36	15	0.42	36	22	0.61	36	6	0.17
		斎藤労災病院	24	5	0.21	24	7	0.29	24	4	0.17
		千葉みなと病院	24	12	0.50	24	9	0.38	24	3	0.13
		稲毛病院	12	5	0.42	12	3	0.25	12	3	0.25
		泉中央病院	25	2	0.08	24	5	0.21	24	2	0.08
		千葉中央メディカルセンター	48	26	0.54	48	19	0.40	48	27	0.56
		平山病院	12	6	0.50	12	0	0.00	12	2	0.17
		山王病院	33	12	0.36	36	15	0.42	36	10	0.28
		三愛記念病院	48	14	0.29	48	20	0.42	48	12	0.25
		最成病院	48	14	0.29	48	16	0.33	48	17	0.35
		みつわ台総合病院	48	32	0.67	48	20	0.67	48	16	0.33
	合 計		416	1.14		397	1.09		316	0.86	
	転 送	366	239	0.65	365	239	0.65	365	255	0.70	
	転搬送 合 計		655	1.79		636	1.74		571	1.56	
	二次転搬送率		5.04%		4.87%		4.70%				
小 児 科	搬 送	国立病院機構千葉医療センター	24	8	0.33	0	0	0.00	—	—	—
		千葉市立青葉病院	48	15	0.31	0	0	0.00	—	—	—
		千葉県こども病院	48	22	0.46	12	5	0.42	—	—	—
		東京女子医科大学八千代医療センター	48	24	0.50	12	6	0.50	—	—	—
		千葉市立海浜病院	197	224	1.14	341	357	1.05	365	386	1.06
		千葉市立海浜病院 (バックアップ)	168	35	0.21	21	6	0.29	—	—	—
		合 計		385	1.05		374	1.03		386	1.06
		転 送	366	62	0.17	365	67	0.18	365	47	0.13
		転搬送合計		447	1.22		441	1.21		433	1.19
		二次転搬送率		3.28%		3.43%		3.40%			
	合 計	366	1,102	3.01	365	1,077	2.95	365	1,004	2.75	

※ 夜急診で入院・加療等が必要だと判断される患者については、二次医療機関に転搬送をしている。搬送と転送の違いは、夜急診の患者受け入れ先として登録されている二次医療機関で、当日当番となっている所に送ることを「搬送」と言い、それ以外の医療機関に送ることを「転送」と言う。

※ 二次転搬送率とは、来院患者数全体に占める、転搬送患者の割合（転搬送患者数÷来院患者数×100）

※ 小児科の二次医療機関が、国立病院機構千葉医療センター、千葉県こども病院、または東京女子医科大学八千代医療センターであるときは、海浜病院がバックアップをしている。(平成28年5月まで)

※ 平成28年6月より、小児科の二次医療機関の当番はすべて千葉市立海浜病院となる。

図表 2-15-2 内科の転送患者の内訳（平成 29 年度）

（単位：人）

医療機関名	転送数	医療機関名	転送数
千葉市立海浜病院外科	45	最成病院	2
千葉県救急医療センター	29	ジェイコー千葉病院	2
千葉メディカルセンター	26	千葉県こども病院	2
千葉脳神経外科病院	25	斎藤労災病院	1
みつわ台総合病院	21	地域医療機能推進機構 船橋中央病院	1
千葉市立海浜病院内科	19	千葉県がんセンター	1
千葉大学医学部附属病院	15	千葉県済生会習志野病院	1
千葉市立青葉病院	14	千葉県循環器病センター	1
国立病院機構千葉医療センター	14	津田沼中央総合病院	1
千葉中央メディカルセンター	11	東京歯科大学市川総合病院	1
みはま病院	9	東京女子医科大学八千代医療センター	1
千葉市立海浜病院婦人科	8	成田赤十字病院	1
稲毛病院	4	合 計	255

図表 2-15-3 小児科の転送患者の内訳（平成 29 年度）

（単位：人）

医療機関名	転送数	医療機関名	転送数
千葉大学医学部附属病院	32	独立行政法人国立病院機構 下志津病院	1
千葉県こども病院	3	千葉市立海浜病院外科	1
千葉メディカルセンター	3	東京歯科大学千葉病院	1
千葉市立青葉病院	2	ホタカ整形外科	1
みつわ台総合病院	2		
梶田病院（旧：福住医院千葉）	1	合 計	47

図表 2-15-4 内科の転搬送における一次診断名（平成 29 年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
イレウス	70	アナフィラキシー	3	視野欠損	1
虫垂炎	65	嘔気・嘔吐	3	上気道炎	1
腹痛	59	肝機能障害	3	食道異物	1
脳血管障害	31	脱水症	3	食道がん	1
肺炎	28	吐血	3	食欲不振	1
胃腸炎	20	扁桃炎	3	じんましん	1
胆のう・胆管炎	17	急性心膜炎	2	頭痛	1
発熱	17	筋膜症	2	精巣捻転	1
めまい	14	血便	2	全身脱力	1
消化管出血	12	骨折	2	大腸破裂	1
不整脈	12	兎径ヘルニア	2	動悸	1
気胸	11	電解質異常	2	頭部切創	1
心筋梗塞	11	敗血症	2	頭部打撲	1
胆石症	10	貧血	2	肺サルコイドーシス	1
尿路感染症	10	腹水	2	バセドウ病	1
呼吸不全	9	急性薬物中毒	2	白血病	1
睪炎	8	アニサキス症	1	皮下気腫	1
気管支喘息	7	ウイルス性感染症	1	腹部膨満感	1
髄膜炎・脳炎	7	横紋筋融解症	1	臍ヘルニア	1
尿閉	7	回盲部周囲炎	1	扁桃周囲膿瘍	1
尿路結石	7	肝腫瘍	1	右眼充血	1
婦人科疾患	7	気道異物	1		
胸・背部痛	7	気道狭窄	1		
意識障害	6	逆流性食道炎	1		
憩室炎	5	急性アルコール中毒	1		
大動脈瘤破裂・解離	5	胸膜痛	1		
胃・十二指腸潰瘍	4	てんかん・けいれん	1		
気管支炎	4	血尿	1		
急性喉頭蓋炎	4	健忘症	1		
狭心症	4	誤飲	1		
筋肉痛	4	高血圧症	1		
心窩部痛	4	口唇チアノーゼ	1		
心不全	4	喉頭浮腫	1		
腹膜炎	4	股関節炎	1	合計	571

図表 2-15-5 内科の転搬送における二次診断名（平成 29 年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
イレウス	59	精神疾患	3	甲状腺グリーゼ	1
虫垂炎	54	鼠径ヘルニア	3	口唇チアノーゼ	1
胃腸炎	48	打撲	3	喉頭異物	1
肺炎	33	インフルエンザ	2	骨折	1
胆のう・胆管炎	25	嘔気・嘔吐	2	耳下腺炎	1
脳血管障害	22	肝機能障害	2	視床出血	1
めまい	18	気管支炎	2	終末回腸炎	1
憩室炎	16	急性咽頭炎	2	漿膜下筋腫捻転	1
尿路感染症	16	胸・背部痛	2	食道癌	1
腹痛	16	憩室出血	2	食欲不振	1
婦人科疾患	15	高血圧症	2	自律神経失調症	1
不整脈	14	狭心症	2	心窩部痛	1
胆石症	13	喉頭蓋炎	2	腎細胞癌	1
気胸	11	筋肉痛	2	精巣捻転	1
睪炎	11	食道炎	2	譫妄	1
尿路結石	9	てんかん・けいれん	2	前立腺肥大症	1
心筋梗塞	8	敗血症	2	帯状疱疹	1
便秘症	8	廃用症候群	2	腸窄孔	1
気管支喘息	7	発熱	2	直腸癌	1
頭痛	7	白血病	2	電解質異常	1
大動脈瘤破裂・解離	7	貧血	2	洞不全症候群	1
心不全	6	臍ヘルニア	2	頭部切創	1
尿閉	6	WPW 症候群	1	動脈硬化症	1
扁桃炎	5	アニサキス症	1	バゼドウ病	1
アナフィラキシー	4	胃けいれん	1	ハント症候群	1
胃・十二指腸潰瘍	4	意識障害	1	皮下気腫	1
胸痛	4	咽頭浮腫	1	副鼻腔炎	1
消化管出血	4	回盲部炎	1	腹部膨張感	1
髄膜炎・脳炎	4	ガス中毒	1	扁桃周囲膿瘍	1
脱水症	4	眼球結膜充血	1	膀胱癌	1
腹膜炎	4	関節炎	1	末梢神経障害	1
ウイルス感染症	3	肝腫瘍破裂	1	老衰	1
急性薬物中毒	3	肝嚢胞	1	異常なし（頭蓋内）	1
呼吸不全	3	ギランバレー症候群	1		
心膜炎	3	頸椎症	1		
じんましん	3	頸部膿瘍	1	合計	571

図表 2-15-6 小児科の転搬送における一次診断名（平成 29 年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
発熱	47	蜂窩織炎	3	髄膜炎・脳炎	1
気管支喘息	44	アナフィラキシー	2	頭蓋内出血	1
肺炎	37	肝機能障害	2	精巣上体炎	1
胃腸炎	34	顔面打撲・外傷	2	切創	1
気管支炎	22	筋肉痛	2	嵐径ヘルニア	1
頭部打撲・外傷	22	憩室炎	2	爪剥離	1
虫垂炎	20	下痢症	2	手足口病	1
川崎病	11	下顎裂傷	2	手足発疹	1
尿路感染症	11	脱水症	2	溺水	1
熱性けいれん	11	熱傷	2	てんかん・けいれん	1
上気道炎	10	鼻孔異物	2	転落	1
異物誤飲	8	リンパ節炎	2	尿閉	1
嘔気・嘔吐	7	足首捻挫	1	尿路結石	1
紫斑病	7	イレウス	1	敗血症	1
無熱性けいれん	7	陰茎挫創	1	左手指挫創	1
ウイルス感染症	6	陰嚢痛	1	ひょう疽	1
クループ症候群	6	起き上がれない	1	副鼻腔炎	1
血便	5	肩関節脱臼	1	浮腫	1
細気管支炎	5	関節炎	1	便秘症	1
新生児発熱	5	カントン包茎	1	発疹	1
腹痛	5	顔面神経麻痺	1	耳後部裂傷	1
インフルエンザ	4	急性アルコール中毒	1	予防接種副反応症	1
眼瞼打撲	4	踝痛	1		
肘内障	4	頸部の腫れ	1		
骨折	4	口腔内外傷	1		
頭痛	4	口唇挫創	1		
腸重責	4	股関節脱臼	1		
咽頭蓋炎	3	細気管支喘息	1		
消化管出血	3	上位運動ニューロン障害	1		
精巣捻転	3	心筋炎	1		
打撲	3	じんましん	1	合計	433

図表 2-15-7 小児科の転搬送における二次診断名（平成 29 年度）

（単位：人）

疾病名	患者数	疾病名	患者数	疾病名	患者数
胃腸炎	47	下顎裂創	2	食道炎	1
気管支喘息	41	急性中耳炎	2	水腎症	1
肺炎	28	筋肉痛	2	鼠径ヘルニア	1
頭部打撲・外傷	25	股関節炎	2	中枢性尿崩壊症	1
発熱	23	じんましん	2	手足口病	1
気管支炎	21	精巣上体炎	2	低血糖症	1
上気道炎	16	脱水症	2	停留精巣	1
細気管支炎	15	肘内障	2	溺水	1
虫垂炎	15	伝染性単核球症	2	手掌擦過傷・左膝擦過傷	1
尿路感染症	13	熱傷	2	膝痛	1
熱性けいれん	13	鼻腔内異物	2	左上腕皮膚膿瘍	1
川崎病	11	蜂窩織炎	2	左爪周囲膿瘍	1
アレルギー性紫斑病	10	無熱性けいれん	2	腹部外傷	1
便秘症	9	リンパ節炎	2	腹部膨張感	1
異物誤飲	8	異常なし（転落・顔面骨折）	2	扁桃炎	1
ウイルス感染症	7	陰茎包皮裂傷	1	マイコプラズマ感染症	1
クループ症候群	6	陰性陥頓	1	眉部裂創	1
嘔気・嘔吐	5	陰嚢水腫	1	右指尖部損傷	1
骨折	5	陰嚢痛	1	流行性筋痛症	1
てんかん・けいれん	5	咽頭症	1	肋骨部挫傷	1
インフルエンザ	4	咽頭損傷	1	細菌感染なし	1
打撲	4	上顎洞炎	1		
腸重積	4	横隔膜ヘルニア	1		
敗血症	4	顔面神経麻痺	1		
アデノウイルス感染症	3	亀頭包皮炎	1		
額部裂傷	3	急性アルコール中毒	1		
眼瞼挫創	3	胸・背部痛	1		
新生児発熱	3	屈折性内斜視	1		
頭痛	3	憩室炎	1		
ヒトメタニューモウイルス感染症	3	血便	1		
腹痛	3	下痢症	1		
アナフィラキシー	2	細気管支喘息	1		
イレウス	2	下口唇挫創	1	合計	433

国際疾病分類（ICD）別の転搬送患者数は、内科では「11 消化器系の疾患」による転搬送が多くなっているのに対し、小児科では「10 呼吸器系の疾患」が多かった。

また、「03 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」と「16 周産期に発生した病態」については、転搬送の件数自体は少ないものの、転搬送率が高く、これらの患者は夜急診での対応が困難である。

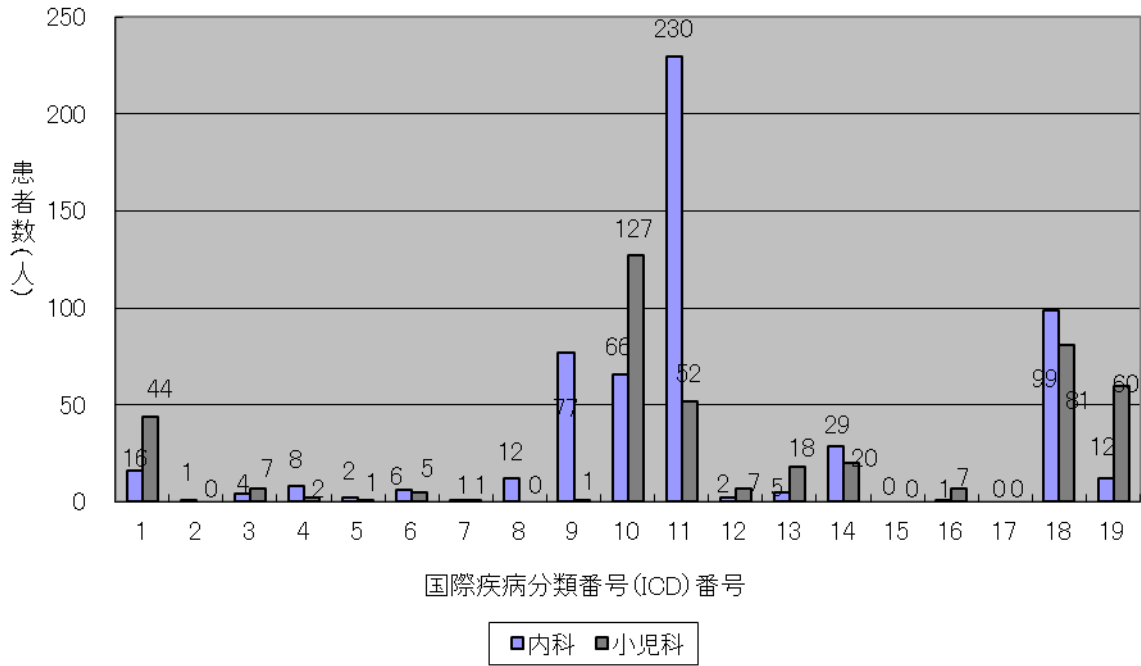
図表 2-15-8 国際疾病分類（ICD）別に見た転搬送患者状況（平成 29 年度）

（単位：人）

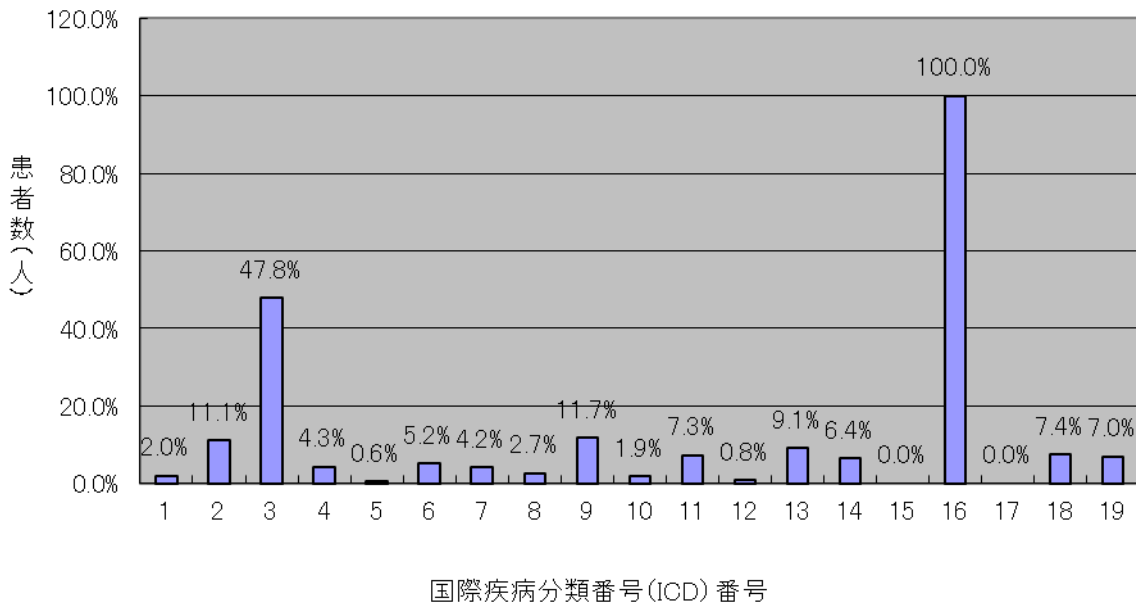
		内 科	小児科	合 計	転搬送率 (%) ※
1	感染症及び寄生虫症	16	44	60	2.0
2	新生物	1	0	1	11.1
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4	7	11	47.8
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	8	2	10	4.3
5	精神及び行動の障害	2	1	3	0.6
6	神経系の疾患	6	5	11	5.2
7	眼及び付属器の疾患	1	1	2	4.2
8	耳及び乳用突起の疾患	12	0	12	2.7
9	循環器系の疾患	77	1	78	11.7
10	呼吸器系の疾患	66	127	193	1.9
11	消化器系の疾患	230	52	282	7.3
12	皮膚及び皮下組織の疾患	2	7	9	0.8
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	5	18	23	9.1
14	尿路性器系の疾患	29	20	49	6.4
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	0	0	0.0
16	周産期に発生した病態	1	7	8	100.0
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0.0
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	99	81	180	7.4
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	12	60	72	7.0
総 数		571	433	1,004	4.0

※ 転搬送率とは、国際疾病分類（ICD）による、来院患者数全体に占める転搬送患者の割合
 $(ICD \text{ 別転搬送患者数} \div ICD \text{ 別来院患者数} \times 100)$

図表2-15-9 国際疾病分類(ICD) 別に見た転搬送患者数(平成29年度)



図表2-15-10 国際疾病分類(ICD) 別に見た転搬送率(平成29年度)



図表 2-15-11 転搬送患者の加療・入院状況（平成 29 年度）

（単位：人）

	内 科		小児科		総 数	
	患者数	割合 (%)	患者数	割合 (%)	患者数	割合 (%)
外来治療のみ	306	53.6	210	48.5	516	51.4
重症につき治療転送	10	1.8	6	1.4	16	1.6
入院（翌日退院）	8	1.4	3	0.7	11	1.1
〃（2日～7日）	145	25.4	165	38.1	310	30.9
〃（8日～15日）	70	12.2	38	8.8	108	10.7
〃（16日～30日）	21	3.7	4	0.9	25	2.5
〃（31日～99日）	8	1.4	4	0.9	12	1.2
〃（100日以上）	3	0.5	3	0.7	6	0.6
合 計	571	100.0	433	100.0%	1,004	100.0%

※ 治療転送とは、転搬送先の医療施設でも対応が困難であったため、さらに別の医療施設に転送したもの

図表 2-15-12 転搬送患者の月別入院日数状況（平成 29 年度）

（単位：人）

		内 科			小児科			総 数		
		患者数	延べ日数	平均入院日数	患者数	延べ日数	平均入院日数	患者数	延べ日数	平均入院日数
平成 29年	4月	38	502	13.2	44	141	3.2	82	643	7.8
	5月	51	157	3.1	44	250	5.7	95	407	4.3
	6月	44	319	7.3	38	107	2.8	82	426	5.2
	7月	45	127	2.8	43	175	4.1	88	302	3.4
	8月	54	602	11.1	35	77	2.2	89	679	7.6
	9月	58	216	3.7	45	193	4.3	103	409	4.0
	10月	47	156	3.3	32	68	2.1	79	224	2.8
	11月	61	662	10.9	30	455	15.2	91	1,117	12.3
	12月	48	191	4.0	37	77	2.1	85	268	3.2
平成 30年	1月	45	208	4.6	28	55	2.0	73	263	3.6
	2月	39	252	6.5	25	140	5.6	64	392	6.1
	3月	41	73	1.8	32	84	2.6	73	157	2.2
合 計		571	3,465	6.1	433	1,822	4.2	1,004	5,287	5.3

図表 2-15-13 転搬送患者の入院後の死亡例（平成 29 年度）

性別	年齢	疾病名	入院	性別	年齢	疾病名	入院
男	65	劇症肝炎、非代償性 アルコール性肝硬変	2 日	女	70	膀胱癌局所再発	15 日
女	86	老衰	93 日	女	90	高齢による廃用症候群	1 日
女	86	巨大肝嚢胞・特発性血小板 減少性紫斑病	6 日	男	68	心肺停止、急性心筋梗塞、 心破裂	0 日
女	90	高齢による廃用症候群	47 日				

図表 2-15-14 内科の転搬送先医療施設からの治療転送例（平成 29 年度）

性別	年齢	疾病名	3 次転送先
男	37	くも膜下出血	千葉県救急医療センター
男	76	急性白血病、肺塞栓、発作性心房細動	千葉大学医学部附属病院
女	32	急性虫垂炎	東千葉医療センター
女	66	絞扼性イレウス、非閉塞性腸管虚血	千葉大学医学部附属病院
男	54	臍ヘルニア陥頓	千葉メディカルセンター
女	76	腸軸捻転、腸閉塞	千葉県救急医療センター
男	69	閉塞性動脈硬化症	千葉県救急医療センター
男	78	肝腫瘍破裂	千葉大学医学部附属病院
女	56	急性虫垂炎	済生会習志野病院
男	54	肺炎	千葉大学医学部附属病院

図表 2-15-15 小児科の転搬送先医療施設からの治療転送例（平成 29 年度）

性別	年齢	疾病名	3 次転送先
女	0	右鼠径ヘルニア	千葉大学医学部附属病院
男	1	麻痺性イレウス	千葉大学医学部附属病院
男	10	急性壊疽性虫垂炎、血友病 A	千葉県こども病院
女	12	急性腹症	千葉大学医学部附属病院
男	0	左横隔膜ヘルニア	千葉大学医学部附属病院
男	1	左単純性股関節炎	船橋二和病院